

パピルス

上越市立図書館だよりNo.248

2018(平成30)年 11月 1日発行

編集・発行 / 上越市立図書館

☎高田図書館 025-523-2603

☎直江津図書館 025-545-3232

ホームページ <https://www.lib.joetsu.niigata.jp/>

メールアドレス t-toshokan@city.joetsu.lg.jp

*パピルス…古代エジプトで使われた、草の茎から製した一種の紙

本に関するこんな賞、知っていますか？

読書の秋です。今年のノーベル文学賞は発表が見送られ、代替の賞が発表されたことで話題を呼びました。日本でも芥川賞や直木賞、最近では本屋大賞が毎回大きな話題となり、新たな文学賞が続々と創設されています。そんな本に関する賞の中から、ちょっとユニークなものや分野に特化した賞など、一部をご紹介します。

☆Twitter文学賞☆

一般のTwitterユーザーが、その年に最も面白いと思った小説を投票(ツイート)し、その得票数で決定する。作家や評論家が選考に一切関与しない文学賞。

2017年国内編1位

『チュベローズで待ってる(AGE22)・(AGE32)』

加藤シゲアキ/著 扶桑社 Fカ 浦川原

2017年海外編1位

『地下鉄道』 コルソン・ホワイトヘッド/著

早川書房 933ホ 直江津

☆日本タイトルだけ大賞☆

日本国内で出版された書籍から、毎年優れたタイトルのものを選出し、表彰する賞。選考基準はあくまでタイトルの秀逸さであり、内容は問わない。

2017年大賞

『ムー公式 実践・超日常英会話』

宇佐和通/著 学研プラス 147ウ 高田



☆料理レシピ本大賞☆

各出版社からエントリーした料理レシピ本の中から、書店員と料理専門家からなる選考委員の投票により決定される。

2018年料理部門大賞

『みそ汁はおかずです』 瀬尾幸子/著

学研プラス 596.2セ 高田

2018年料理部門エッセイ賞

『もうレシピ本はいらない』 稲垣えみ子/著

マガジンハウス 596.0イ 直江津・頸城

☆日本絵本賞☆

絵本芸術の普及、絵本読書の振興、絵本出版の発展に寄与することを目的に、日本で1年間に出版された絵本の中から特に優れた絵本が表彰される。

第23回日本絵本大賞

『わくせいキャベジ動物図鑑』

tupera tupera/作・絵 アリス館 Eツ 高田・直江津

第23回日本絵本賞

『ばけバケツ』 軽部武宏/作 小峰書店 Eカ 高田

『ドームがたり』 アーサー・ビナード/作、スズキコージ/画 玉川大学出版部 Eス 高田

◎文学賞について知るための本◎

『ノーベル文学賞を読む』 橋本陽介/著 KADOKAWA 902ハ 高田

『世界の8大文学賞』 都甲幸治/著 立東舎 902セ 高田

『芸能人と文学賞』 川口則弘/著 ベストセラーズ 910.2カ 直江津

『文学賞の光と影』 小谷野敦/著 青土社 910.2コ 直江津



※書名、著者名、出版社、請求記号、所蔵館の順に並んでいます。

秋のおでかけ 旅する本



旅がテーマの本の中から、上越地域が登場するものをご紹介します。

『旅ゆけば味わい深し』 林望/著 産業編集センター 915.6ハ 直江津

旅好きの著者が、「行く先だけを、なんの根拠もなく決めて、出たとこ勝負で逍遙する」紀行文と、日々の暮らしの中での愛する食べ物について綴ったエッセイ集。

観光名所でもなんでもない場所で、名物でもなんでもないけれど、思いがけず美味しい食べ物に出会うことが旅の醍醐味だという著者が、日本各地で出会った「無名の美味」が満載。

上越からは高田のアノお店のお菓子が紹介されています。

『線量計と奥の細道』 ドリアン助川/著 幻戯書房 915.6ト 直江津

東日本大震災とそれに伴う福島第一原発事故に衝撃を受けた著者が、2012年8月から11月にかけて、線量計を携え行く先々で線量値を測定しながら、松尾芭蕉の『奥の細道』の全行程約2千キロを自転車で旅した記録。旅先で出会う人々の温かさに感動し、被災地で目の当たりにする現実^{しょうよう}に苦悩しながら続く旅が、淡々と、時に情緒的に綴られています。

旅の後半、新潟市から日本海沿いに直江津～糸魚川へ至る行程の出来事が、印象的に語られます。

『ローカル線で温泉ひとりたび』 たかぎなおこ/著 メディアファクトリー

T291.0タ 直江津 291.0タ 高田



のんびりローカル列車に揺られて、温泉でゆったり。そんな極楽な旅が詰まったコミックエッセイ。

愛媛は坊っちゃん列車で道後温泉、岐阜～富山～石川を青春18きっぷで大移動。ローカル鉄道の聖地、北海道で日本最北端駅を目指し湯めぐり旅…今すぐ出かけたくなる旅が満載です。

新潟の旅では、越後湯沢からほくほく線で直江津に途中下車。しかし、信越本線での乗り換えで思わぬ落とし穴が…！

※書名、著者名、出版社、請求記号、所蔵館の順に並んでいます。

0歳から貸出カードの作成が可能です！

6歳以下のお子さんには、登録の際、読書記録帳【よむよむ】を配布しています。読書記録帳【よむよむ】は親御さんが記録するお子さんの読書記録帳で、お子さんと一緒に楽しんだ本を書きとめることで育児記録にもなります。この機会にぜひご登録ください。

読書記録帳【よむよむ】は、すでに貸出カードを発行済みのお子さんに対しても、6歳以下であることを確認の上、お渡しします。ご希望の方は窓口でお声掛けください。

